



22 世紀に緑の遺産を贈る
県民運動
にいがた「緑」の百年物語

令和 2 年度 事業報告書

公益社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

II 事業報告

当委員会は、「にいがた緑の百年物語県民運動」と「緑の募金」の事業推進について、公正、公平、透明性をもって取り組む。取り組むに当たっては、収支相償を財政運営の基本として、会員と緑の募金の拡大による財源の確保と予算執行の効率化を図り、円滑な組織・事業運営に努める。

本年の事業実施は、新型コロナウイルスの感染防止に努め、新潟県、市町村等行政機関との連携を図りつつ、企業や緑化団体等広範な県民の協力を得ながら、以下に掲げる重点事項を中心として、地域組織の活動を推進した。緑の募金の浄財は、協賛企業・団体と共に、地域の拠点となる協働による森づくり、豪雨災害等被災地への緑の復興活動、次世代を担う子どもたちの育成、ボランティア団体の緑化活動等を助成・支援した。また、「にいがた緑の百年物語」県民運動の一層の推進を図り、これまで理解を得た県民の輪を更に広げ、子供から大人まで世代を超えた多くの理解を得ながら県民参加の森づくりを推進した。

○令和2年度の重点事項

- ①組織基盤の確立と地域活動の推進
- ②県民運動と緑の募金の普及啓発及び緑の遺産森づくりの推進
- ③次世代につなぐ県民参加の森づくりの推進
- ④心豊かな子供たちの育成とボランティア精神の醸成

(単位：千円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
1 組織基盤の確立と地域活動の推進	2,890	2,023	△867	
○緑の守人(会員)拡充強化	250	0	△250	
○地域活動の推進	2,640	2,023	△617	

(1) 会費収入及び会員加入状況について

・企業団体等を対象とした緑の募金活動と連携した法人会員の拡大、地域組織(地域連絡会議等)との連携による新規会員加入促進と要請活動を実施、展開した。

令和2年度会費目標額：12,000千円 (令和元年度実績額：11,668千円)
会費実績額(3月末現在)：10,512千円 (目標達成率：87.6%)

表1 会費収入及び会員加入状況

(単位：千円、人)

区分	会費収入			会員数			備考
	計画A	実績B	B-A	計画A	実績B	B-A	
正会員	9,400	8,120	△1,280	600	555	△45	
賛助会員	2,600	2,392	△208	500	427	△73	
合計	12,000	10,512	△1,488	1,100	982	△118	

(資料1：会員・会費収入別内訳)

(2) 地域活動の推進

- ・県内全域に設置した地域組織の活動強化を図った。
- ・地域緑化活動の先導役である地域推進員の活動を支援した。

(単位：千円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
2 県民運動及び緑の募金の普及啓発と緑の遺産森づくりの推進	11,260	6,214	△5,046	
○県民運動及び緑の募金の啓発活動	2,560	2,244	△316	
○緑の遺産森づくり及び植樹祭等の開催	6,200	3,044	△3,156	
○地域の森づくり	2,500	926	△1,574	

(1) 県民運動の普及啓発

会報やイベント情報、ホームページなどによる情報発信力を維持・強化し、県民運動の推進と啓発活動を実施した。

① 情報の発信

- ・会報誌：春号（新会報第17号） 「緑とともに生きる 春」
：秋期（「 第18号） 「緑とともに生きる 秋」 を発刊
- ・春期イベント情報発行： 137（172）件
秋期イベント情報発行： 110（160）件 掲載 ※（ ）は前年度実績
- ・メディア（新潟県民エフエム放送「ポルタ」後継BSNラジオ「近藤丈靖の独占ごきげんアワー」）と連携し、緑化団体の活動情報を発信、併せて県民運動の啓発と会員募集活動を実施
- ・林業情報誌「林業にいがた」の紙面を活用し、ボランティア活動や県民運動の情報を提供

② 座談会の開催

- ・日時・場所：令和2年7月29日（水）朱鷺メッセ
- ・テーマ：「ふたつの百年物語がめざす未来」
（司会BSN新潟放送局 近藤のぞみ）
平山理事長とブランディングアドバイザー中村正樹（公益財団法人にいがた産業創造機構） とによるBSNラジオ収録を兼ねた。

(2) 緑の遺産森づくり植樹活動及び植樹祭等の支援

① 緑の遺産森づくり植樹活動の開催

- ・開催日及び場所 令和2年10月31日（土）
胎内市中村浜地内海岸林 参加者 200人

② 地方植樹祭等の開催支援

- ・「第61回岩船林業振興祭(村上市山北地区)」(10月14日) 参加者244人
ほかは新型コロナウイルス感染症対策のため中止

③ 拠点の森づくりの支援

- ・地域の拠点として期待される森づくりに支援
かけはしの森づくり（長岡市）、風の森づくり（十日町市）、育樹を通して自然を学ぶ森づくり（村上市）、汐見台区民協働の森づくり（新潟市中央区）、朝日の森市民の森づくり体験（新潟市秋葉区）

(3) 地域の森づくりの推進

県内各地域の地域組織が主体となり其々の地域で活動する団体と連携し、県民運動の啓発につながる地域の森づくり事業の実施支援した。

(単位：千円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
3 次世代につなぐ県民参加の森づくりの推進	33,500	21,271	△12,229	
○各種団体からの受託事業等による緑化活動支援	2,800	150	△2,650	
○寄付金等によるにいがた森づくり事業	1,550	1,328	△222	
○緑の募金による緑化助成事業（一般）	27,000	18,500	△8,500	
○緑の募金による企業の森づくり（特定）	2,000	1,043	△957	
○緑の募金による特定助成事業推進費（特定）	150	250	100	

(1) 緑化活動の推進

各種団体等の受託事業や緑の募金、寄付金等を原資とした助成事業により、ボランティア団体等の森林整備活動及び緑化活動支援を実施した。また、企業等からの寄付金（使途限定緑の募金）を受け、企業等と地域との協働による「企業の森づくり」を実施した。

(2) 緑化助成事業の実施状況

事業名	事業内容	令和2 年度実績	前年度 実績	資料No.
ゴルファー緑化促進事業	（公社）ゴルフ緑化促進会交付金による助成事業	助成件数 1件	助成件数 1件	2-1
ボランティア保険料助成事業	緑化活動のボランティア保険料を助成	6件	17件	2-1
にいがた森づくり事業	啓発効果の高い森づくり事業	1件	2件	2-1
拠点の森づくり	地域の森づくりの拠点となる森林整備に助成	6件	—	2-5
緑百年緑化助成事業小計		14件	20件	
「緑の募金」森づくり事業	学校林の整備や地域住民及び緑化団体等による森づくり活動を助成	86件	93件	2-2
「緑の募金」記念植樹事業	集会施設、公園等で地域住民が参加して行う記念植樹用苗木を助成	101件	94件	2-3
企業の森づくり事業	企業協賛募金による企業の森づくり及び企業協賛の森づくり事業	3件	5件	2-4
地域の森づくり事業	地域組織主体に構成団体と連携し、県民運動の啓発につながる活動を助成	3件	6件	2-6
緑の募金緑化助成事業小計		193件	198件	
緑化助成事業 計		207件	218件	

(3) 緑化助成事業の審査等について

○緑化助成事業審査会（地域の森づくり事業は除く）の開催状況

第1回審査会（70件）：4月24日、第2回審査会（20件）：7月22日、第3回審査会（1件）：9月24日

・審査は、申請手続きや書類の不備、目的の妥当性、申請内容（植栽樹種、時期、樹木・資材の価格等）を重点に行い、疑問な点は再確認し、必要な場合は訂正の上で採択した。

・現地調査会では、審査会審査員6名及び事務局4名で9月24日、村上市、新発田市、阿賀野市の助成箇所を訪問し、現地の状況、樹木の育成環境等を調査した。

(単位：千円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備考
4 心豊かな子供たちの育成とボランティア精神の醸成	16,000	12,739	△3,261	
○緑の募金の普及啓発と募金活動の推進	9,000	8,835	△165	
○緑の少年団等の育成支援	7,000	3,904	△3,096	

(1) 緑の募金普及啓発活動の強化

ポスター・ステッカーを貼っての各種イベントでの募金活動、チラシ等の募金資材を活用したほか、広報誌等の普及啓発活動により広く県民に対し運動の周知に努めた。また、ホームページの活用によるタイムリーな情報発信の強化を図った。

○普及啓発活動（褒賞事業）の実施

① 緑化功労者表彰 ※地方植樹祭で表彰

- ・緑化功労者理事長表彰：村上地域まちづくり協議会環境整備部会ほか2団体1個人
- ・緑の募金表彰：村上市岩船小学校

② ポスター原画・標語コンクールの実施

- ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクール表彰

(原画の部)：優秀賞 新潟県立小千谷西高等学校1年 金子あみほか奨励賞13作品

(標語の部)：優秀賞 佐渡市立両津小学校6年 田村莉愛ほか奨励賞9作品

(2) 緑の少年団の育成及び緑の学校の支援等

緑の少年団の結成や活動等の支援及び子供たちを対象とした緑の学校の開催を支援した。

○緑の少年団の育成： 緑を愛する心豊かな少年・少女を育てることを目的として結成された緑の少年団の活動を支援。新型コロナウイルス感染防止のため、交流集会が中止となったことから、鉛筆を団員に配付する支援事業を実施した。 ※R2年度団員数：44団体、2,067名 (前年比6人増)

○緑の学校支援： 県と地域組織が連携して行う次代を担う子供たちを対象とした森林学習の機会の提供を目的に開催する「緑の学校」を支援した。

(単位：千円)

事業名	R2年度実績	R1年度実績	備考
結成支援事業	0	0	H28年度団員数：49団体：2,268名
活動支援事業	2,653	2,767	H29年度団員数：49団体：2,094名
交流集会事業*	1,053	3,047	H30年度団員数：47団体：2,075名
緑の学校助成事業	198	228	R1年度団員数：45団体：2,061名
合計	3,904	6,042	R2年度団員数：44団体：2,067名

* 交流集会開催中止のため、44団体に文具の配布事業を実施

(3) 多様な緑の募金活動の実施

① 春期募金活動

春期募金は、家庭募金を柱として、学校募金、職場募金など多様な募金活動を展開。ポスター・チラシ等の募金資材を活用。また、新聞、広報誌等の普及啓発活動により広く県民に対し募金や県民運動の周知に努めた。

② 秋期募金活動

9月1日から始まった秋期「緑の募金」は「緑化活動は継続が力である」との思いのもと、目標額を18,000千円と定め、災害に強い森づくりや拠点となる森づくり、そして子ども達の育成を掲げ、県民参加の森づくりへの啓発を行った。特に企業・団体等に対してする協力要請と各種イベント等での募金活動を重点に実施した。

○緑の募金活動の実施

令和2年度緑の募金目標額	： 70,000千円	(令和元年度実績額：56,624千円)
令和2年度緑の募金現在額	： 60,117千円	(対前年実績比106.2%)

(緑の募金 集計：3月末実績)

(単位：千円)

年 度	家庭募金	家庭募金 以外計	内 訳					募金総額
			学校	職場	企業	街頭	その他	
R1実績	40,856	15,768	2,537	3,874	8,063	365	929	56,624
R2 実績	45,727	14,390	1,620	3,610	7,995	59	1,106	60,117
増減	4,871	▲1,378	▲917	▲264	▲68	▲306	177	3,493
前年比%	111.9	91.3	63.9	93.2	99.2	16.2	119.1	106.2

(資料2：令和2年度「緑の募金」市町村別実績表)

① 春期「緑の募金」実施状況及び結果について

- ・家庭募金を柱に、学校募金、職場募金等の多様な募金活動を展開した。ポスター・チラシ等募金資材の活用、広報誌等の普及啓発活動により、広く県民に対し運動の周知に努めた。
- ・家庭募金は新型コロナウイルスの感染防止のため、2市町（南魚沼市、田上町）で中止。ただし、秋期に南魚沼市は実施。職場募金、企業募金は低調、企業募金は小幅減。企業募金は企業の思惑や納金する時期により大きく動くなど不安定かつ厳しい状況。全体では目標額を200円としたことから、前年同期比106%と善戦した。

(参考：全国状況)

- ・中央募金：一般募金、東日本大震災復興事業使途限定募金を含めた合計約308百万円（前年同期比74%）。都道府県募金：1,462百万円（対前年同期比86%）。この結果合計額では1770百万円（対前年同期比84%）となっている。

(参考：近県状況)

- ・新型コロナウイルスの影響を受け春季の募金実績は、前年度に比して軒並みダウン。富山県(78.3%)、石川県(77.9%)、福井県(84.0%)、山梨県(84.0%)、長野県(84.0%)、静岡県(90.9%)、愛知県(33.2%)、岐阜県(94.8%)

② 秋期緑の募金活動の実施について

9月1日から始まった秋期「緑の募金」は目標額を18,000千円とし、災害に強い森づくりや地域の拠点となる身近な森づくり、次の世代を担う子ども達の活動を支援する募金運動に加えて、企業・団体等に対する協力要請やイベント等での募金活動を重点実施した。

(4) 国土緑化推進機構事業の活用

- ・森林環境教育促進事業（小中一貫校まつのやま学園）・緑の少年団活動促進事業（胎内市緑の少年団）
- ・学校環境緑化モデル事業（佐渡市両津吉井小学校・二宮小学校）
- ・子どもたちの未来の森づくり事業（三条市）
- ・ゴルファー緑化事業（十日町市美人林）・災害に強い森づくり事業（胎内市）・ファンド公募（長岡市）